

今週（7月28日から8月1日）の短期金融市場動向

●無担保コール市場

今週の無担保コールO/N物は、前週に引き続き調達ニーズが強く、出会いの水準は0.475～0.478%が中心となったが、28日(月)～30日(水)までは試し取りを実施する先も見られたため、0.478%を上回る水準での出会いも散見された。そのため、加重平均レートは、28日(月)と30日(水)にやや上昇する展開となった。

ターム物は、1W～3M程度の幅広い期間での引き合いが散見されたが、前週に引き続きビッドサイドの資金調達ニーズが弱く、新規で目立った動きは見られなかった。

日銀当座預金残高は、週初524兆円台でスタートし、29日(火)には国債買入オペを主因に525兆円台に増加した。その後はやや減少したものの、1日(金)に財政資金の払いにより再び増加に転じ、526兆円強での着地見込みとなった。

また、30日(木)、31日(金)に実施された金融政策決定会合では、当面の金融政策運営について現状維持とすることが決定された。

●レボ市場

今週のGC O/N物は、0.27～0.505%程度で推移する展開となった。

SC取引の個別銘柄では、2Y460～475回、5Y165～179回、10Y355～379回、20Y180～193回、30Y62～87回、40Y10～18回などで引き合いが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、1Yゾーンが堅調に推移した。

1日(金)に実施された3M物入札は事前予想より強い結果となったが、結果発表後のセカンダリーでは、特段の出会いは見られず閑散なマーケットとなった。

●CP市場

今週のCP市場は、石油、不動産、鉄道などの業態で大型発行が見られた。

市場残高は、週を通して25兆円台半ばから後半で推移する展開となった。

発行レートは、引き続き0.5%以上で推移しており、銘柄や期間により投資家の運用目線にばらつきがみられた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均株価 (円)	新発10年国債 利回り (%)	為替 (ドル/円 中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート (T+1 ON・%)	日銀当座預金残高 (億円)
7/28 (月)	40,998.27	1.564	148.00	0.479	0.488	5,244,400
7/29 (火)	40,674.55	1.555	148.60	0.478	0.486	5,250,800
7/30 (水)	40,654.70	1.555	148.21	0.481	0.451	5,250,100
7/31 (木)	41,069.82	1.550	149.33	0.478	0.487	5,244,900
8/1 (金)	40,799.60	1.550	150.67	0.477	0.492	5,263,900

来週（8月4日から8月8日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
8/4 (月)	7月のマネタリーベース(日銀 8:50) 財政資金対民間収支前月実績/当月見込み(財務省 15:00)				6月の米製造業新規受注・出荷・在庫
8/5 (火)	金融政策決定会合議事要旨(6月16,17日分 8:50) 8月の日銀当座預金増減要因見込み(日銀 8:50)		10Y 8/6発行 26,000億円	交付税借入 8/14借入 10,500億円	6月の米貿易収支 7月のISM非製造業景況指数
8/6 (水)	6月の毎月勤労統計調査速報(厚生労働省 8:30)				
8/7 (木)	7月のマネタリーベースと日本銀行の取引(日銀 8:50) 6月の景気動向指数速報(内閣府 14:00)	TDB6M 8/12発行 35,000億円	30Y 8/8発行 7,000億円	I補償借入 8/20借入 3,028億円	英中銀MPC 6月の米卸売売上高 6月の米消費者信用残高
8/8 (金)	決定会合における主な意見(7月30,31日分 8:50) 6月の全世帯家計調査(総務省 8:30) 6月の国際収支(財務省所管・日銀作成 8:50) 7月の景気ウォッチャー調査(内閣府)	TDB3M 8/12発行 43,000億円			

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
8/4 (月) 日銀予想	100	▲ 59,500	▲ 59,400	国債補完供給	3,200		3,200	▲ 56,200	年金保険料揚げ 法人税・消費税揚げ、申告所得税揚げ TB3M発行▲43,000償還45,000
8/5 (火) 弊社予想	1,000	2,000	3,000				0	3,000	交付税借入▲10,500期日12,500
8/6 (水) 弊社予想	900	▲ 26,000	▲ 25,100	共通担保	▲ 8,000		▲ 8,000	▲ 33,100	10Y発行▲26,000
8/7 (木) 弊社予想	▲ 300	2,000	1,700				0	1,700	交付税借入▲10,500期日12,500
8/8 (金) 弊社予想	▲ 500	▲ 7,000	▲ 7,500				0	▲ 7,500	30Y発行▲7,000
週間合計	1,200	▲ 88,500	▲ 87,300	—	▲ 4,800	0	▲ 4,800	▲ 92,100	

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き資金調達ニーズの強い展開が見込まれる事から、0.477%近辺での出会いが中心になると予想される。債券レポGC T/N物は、参加者のスタンスに大きな変化がなければ、0.45～0.51%程度での推移が予想される。短国市場は、7日(木)に6M物、8日(金)に3M物の入札実施が予定されている。CP市場は、特段大きなイベントはなく、利上げ観測の動向や市場残高の推移が注目される。

主要なイベントは、国内では、5日(火)に金融政策決定会合議事要旨(6月16日、17日分)、6日(水)に6月の毎月勤労統計速報、8日(金)に決定会合における主な意見(7月30,31日分)、6月の国際収支、海外では、5日(火)に6月の米貿易収支、7月のISM非製造業景況指数、7日(木)に英中銀MPCなどの発表が予定されている。

- ◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。